

(3) 子育て情報の収集・発信

北九州市では、「北九州市こそだて情報」誌を年に一度発行し、基本的に必要な情報は発信されているが、子育ての日々に必要な生の情報や、公的取り組みでない自主サークル、子育て支援の自主グループに関する情報は、自ら積極的に探し求めないととどろ着かないのが現状です。

このことを踏まえ、下記のとおり「子育て支援プラザ」を乳幼児親子の、「子どもの館」を小中高生の子育て・親育ちの情報収集・発信基地と位置づけます。

情報発信は、日々の生の情報や、来館者の体験を共有できるニュースレター方式をメインとします。

ニュースレターは、全戸配布、全児童・生徒配布を目標としています。

また、情報発信および広告企画は2館で協働して行います。

一体化により、情報配布のコストを3～4割低減でき、内容的にも乳幼児から学童期で分断されがちな情報をバランスよく扱うことができます。

情報配布・広報の費用は両館で、1/2ずつ配賦します。

1. 情報収集**①行政機関の情報を集める**

子どもに関する行政機関や、各区まちづくり推進課へは、定期的に両館の情報を送付します。

その際に、行政情報を照会し、情報をもらうこととします。

相手方の担当者と連絡を密にし、対象機関の年間企画の流れを把握します。

②アンテナ会員制度

サークルやフリースペースで子育て真っ最中の親に情報サポーターとなってもらい、口コミ情報を集めます。

各区ごと6名募集。月に一度集合し、身近な情報を持ち寄ることとします。

会員には各自年間1回程度、ニュースレターに記事を書いてもらいます。

③NPO、ボランティア団体のキーパーソンを掴む

プラザ、子どもの館とも2色印刷機が使用可能なので、様々な市民団体が来館すると思われます。

そうした各団体の情報を、印刷作業中に集積します。

印刷の際に事務的にやりとりするのではなく、キーパーソンを探し、人間的なつながりを作っておくようにします。

NPOの団体は、分野ごとに人脈がつながっているため、良質で正確な情報が得られる、優れた情報源となり得ます。

④県下、全国のNPOのキーパーソンとつながる

県下や全国で開催される子ども・子育て関係、NPO関係のフォーラム、セミナー等にスタッフは積極的に参加し、各地のキーパーソンと人間関係を作ってくるようにします。

また、メーリングリストなどの情報交換の仕組みを活用して、全国・県下の子育て支援団体や様々な分野のキーパーソンと日常からつながっておきます。

全国的な状況、動向を常に把握し、最新の情報を得られるようにしておきます。

⑤市内HP情報、掲示板、気になるブログの定期的チェック

更新が多い主要HPや掲示板などは、定期的にチェックし、情報を集めます。

2. 情報発信**①ニュースレター****■内容**

ニュースレターは全世代、乳幼児、小学生、中・高校生の4種作成します。

全世代版はA3表カラー裏白黒2つ折で、事業や企画の案内だけでなく、子育て情報や来場者の声を豊富に載せます。ただの企画予告のチラシでは、読んでもらえないが、身近な話題、イベントの報告、参加者の声などが掲載されることで身近な情報誌として読んでもらえるようになります。

特に、世代別に分け、全児童、生徒に配布することで、北九州市の「子育てニュース」「こどもニュース」的な色合いを強く持たせることができます。

乳幼児版では、親のよく突き当たるような悩みをテーマにしたり、ほっとできるような話を載せていきます。

小学生版には、ゲーム大会の優勝者、小学生参画企画のドキュメンタリーなど、身近な友人が登場する感覚を大切にします。編集には、小学生スタッフも入ってもらい、子どもの視点からの情報とします。

中・高校生版では、編集の主力を中・高校生に持っていきます。現代の中・高校生の考え、思いを表現する場としても活用してもらうよう考えています。

全世代版には、上記3世代版のエッセンスをバランスよく取り込んだものとします。

■配布方法

- 1) 西部ガスの広報誌「& a n d」に全世代版を折り込む。市内29万戸
- 2) 市教育委員会の後援を受け、小学校、中学校、市民センター、社会教育施設に配布します。
市民センター、社会教育施設には全世帯版を配置してもらいます。
市民センター経由で、子育てサークル、子育てサロンに乳幼児版が届けてもらうようにします。
小学校は小学生版、中学校は中学生版を全児童・全生徒配布します。
- 3) 県教育委員会の後援を受け、北九州市内の高等学校全生徒に配布します。
- 4) 市教育委員会、幼稚園連盟の後援を受け、乳幼児版を全幼稚園児に配布します。
- 5) 保健福祉局、保育園連盟の後援を受け、乳幼児版を全保育園に配布します。
- 6) 北九州市小児科医会の後援を受け、市内小児科に乳幼児版を配置してもらいます。
- 7) 市内産婦人科医の協力をを受け、市内産婦人科に乳幼児版を配置してもらいます。
- 8) 区役所、乳幼児健診などで乳幼児版を配布してもらいます。

②チラシの活用

チラシは各企画の案内のほか、来館者が特に知りたい情報を定番チラシとして規格化していきます。問合せの中から、ニーズの高いもの、定番チラシとしてあったほうが説明しやすいものを随時制作していくこととします。ちらしは、両館に常時置くようにします。

■子育て情報テーマ例

- 1) 転勤者のあなたに～北九州情報てんこもり
- 2) ほっと子育てふれあいセンターセンパイママ100人の声
- 3) 子連れでいけるお店ベスト10
- 4) 子どもの本100冊

■2館の施設情報

- 1) 支援プラザ・子どもの館の歩き方～共通パスポート&ポイントカードをつかいたおす!
- 2) 支援プラザ・子どもの館応援団の声～ここがオススメ!

③ホームページ

館のコンセプト、館内案内、毎月のイベントカレンダー、特別企画の予告といった定番情報に加えて、以下のような情報を発信します。

- 1) 過去実施したイベント、企画の様子と感想の報告
 - 2) 現在進行中の企画の舞台裏がのぞけるページ
 - 3) 行政、民間を網羅した子ども・子育て情報カレンダー
 - 4) 行政、民間を網羅した子ども・子育て情報マップ
- 3)、4) は、携帯サイトとしてもオープンする。

1)、2) は、両館独自のサイトに設けるが、両館のイベントカレンダー、3)、4) は、共有したページとして、どちらのサイトからも同じように閲覧できるようにします。

掲載情報は、各区6人の子育て中のアンテナ会員が、毎月ミーティングをひらきながら、2館の情報を収集し、情報担当スタッフと、情報サポーターが整理して発信します。

④携帯メールマガジン

メールマガジン会員登録をもらい、情報交換ツールとなっている携帯電話に、週1回程度発信します。
ホームページの情報から、最新のえりすぐり情報を、発信します。

⑤市民活動印刷物への情報広告掲載

両施設に2色印刷機を備え、ローコスト高品質の印刷を手軽に使えるようにして、市民活動の印刷を支援します。

さらに、ニュースレターのような冊子なら最終面、見返しなどに1ページ～半ページ、A4チラシなら裏面の1/4程度に広告を差し込んでもらうことで、印刷代を無料にすることも考えています。

印刷原稿は、ニュースレター等から抜き出した記事などの情報を月ごとに数パターン用意しておきます。単なる広告ではなく、冊子やチラシの情報として読めるものにします。

さらに、広告付き印刷をする場合には、1グループにつき1枚駐車場割引券を渡します。

印刷料金 白黒印刷 原版1枚 32円 印刷 0.2円/枚
2色印刷 原版1枚 50円 印刷 0.4円/枚

⑥情報コーナー設置

支援プラザはライフスタイルライブラリー、子どもの館は総合案内を情報コーナーとします。

情報コーナーには、両館発行のニュースレター、チラシのほか、市民団体、自助グループのチラシや案内、企業の子ども・子育てに関する取り組みを知らせるリーフレットなどを配置します。

⑦活動発表の場の開催

両館共催のシンポジウム、リレートークなど、市民団体や企業の取り組みの発表の場を設けます。

紙の情報からは分からない生きた情報を得る機会となります。

また、人と人が出会う機会にもなります。

■情報広告サンプル

■子どもの館 5月のイベント■

今月はゴールデンウィークスペシャル！！

■遠出もいっけど「子どもの館」でワイワイやるのも楽しいよ！ お父さん、お母さんとゲーム大会に出てみない？

■ゲーム大会子どもの日スペシャル！ 優勝者には豪華賞品！ 5月5日 11:00スタート 参加費300円

★ガイスター3ヶ月連続チャンピオンの、八幡西区 H. Kくんからの挑戦状だあ！

「たぶん、市内にボクより強い子、いないと思う。子どもじゃつまらないから、大人の挑戦者がいいな！」

■子ども？大人？中・高校生しゃべり場

大人の都合で、子どもになったり、大人になったり。〇〇大学△△教授に、都合の良い大人の都合を聞いてみよう！

「この企画、ついに実現しました。」(企画委員 戸畑区K. Kさん)

■他にもたくさん！！ 詳しくは <http://www.xxx.xxx.jp> へ